



チャレンジ！滝根っ子

令和7年11月25日 発行

通巻 第104号

田村市立滝根小学校

発行責任者：鈴木 敏夫



伝える力が高まりました～創立10周年学習発表会～

11月8日（土）、創立10周年学習発表会が行われました。授業を主とする学習活動で学んだことやその成果を、全員がこのステージに凝縮して発表しました。子どもたちは、どうしたらお客様に伝えられるかを考え、話し合い、練習過程で試行錯誤してきました。当日は、やや緊張しながらも一人一人がいい表情で発表できました。そして「伝える力」が高まりました。この成果を今後の学習につないでいきたいと考えています。お忙しい中、ご来校いただきましたご来賓の皆様、保護者様、ご家族の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。

12月の主な行事予定

- | | |
|--|---------------------------------|
| 4日（木）3年クラブ活動見学 | 15日（月）全校生市学力調査（国語） |
| 5日（金）授業参観・全体会・学級懇談 | 16日（火）全校生市学力調査（算数） |
| 6日（土）幼稚園生活発表会 | 18日（木）3年しめ縄づくり体験/4年見学学習（星の村天文台） |
| 8日（月）幼稚園繰替休業日 | 19日（金）お弁当持参日/4校時限 |
| 9日（火）幼小交流会/
5年台湾の小学校との交流②/
滝根地区学校保健委員会 | 20日（土）市ウィンターチャレンジキャンプ② |
| 10日（水）特別支援学級Web作品展～2/28
年末年始の交通事故防止県民総ぐる
み運動～1/7 | 23日（火）冬休み前全校集会/職員会議 |
| 11日（木）滝根地区学校運営協議会③ | 24日（水）冬季休業～1/7 |
| 12日（金）5年福島民報社出前授業 | 31日（水）大晦日 |
| 13日（土）市ウィンターチャレンジキャンプ① | 1月8日（木）冬休み明け全校集会 |



自分の身は自分で守る学習

予告なしの避難訓練！

子どもたちへの予告をせず、しかも休み時間に非常ベルを鳴らしての訓練をしました。さすが滝根っ子です。しっかりと放送や近くの大人の指示を聞いて安全に避難できました。



おやつのとり方は？ ～栄養教室～

育ち盛りの子どもたちにとっておやつは大切な栄養補給でもあります。学習では、「健康によいおやつをどうう」を題材に、いつ、なにを、どのくらいとったらしいのかを話し合い、考えました。



自分の歯を守るために ～歯科保健教室～

8020運動（80歳になっても20本以上自分の歯を保とう）がありますが、これには、小さい時期からの歯の衛生習慣が大事です。学習では、おやつのとりかたや歯磨きの仕方を学びました。



友達関係の変化

子どもの成長に伴って、友達関係は変化していきます。今回は、低中高学年による分け方で友達とのつき合い方について触れたいと思います。

〈小学1～2年生〉

低学年の友達関係は比較的シンプルで、席が近い、家が近いといった理由で友達になることが多いです。また、親どうしの付き合いで会う機会が多くなるので、子どもも仲良くなりやすいです。たまたま1回遊んだだけで友達になれることもあり、性別も気にしないことが多いようです。

〈小学3～4年生〉

中学年になると、気が合う子や好きな子と一緒にいることが楽しくなっていきます。性別で分かれて遊ぶことも増えてきます。親の存在が大きかった年齢を過ぎ、子どもの中では友達の存在が大きくなっていく時期です。仲間意識が芽生えて仲のよい友達との連帯感が強まり、家族と遊ぶより友達と遊ぶ方が楽しくなってきます。

〈小学5～6年生〉

思春期の入り口であるこの時期には、趣味が合う、意見が合う、気持ちがわかり合えるといった内面的なつながりを重視した友達ができるようになります。自我が成長していく中で親に反発することも多くなり、友達のことをあまり話さなくなっています。人間関係がより複雑になり、友達との関係に悩みを抱えることもあります。この時期の子どもたちは、確固たる『自分』がない中で、集団の中での自分の立ち位置を考えたり、人と自分を比べたりしながら、少しづつ『自分はこういう人間だ』と理解していく過程にいます。自分自身があやふやなまま他人と自分を比べることがあるので、葛藤や衝突が起きやすくなります。友だちとの衝突などを経験しながら、『無防備に人を信頼しちゃいけないんだな』『私はこういう人と気が合うんだな』などと、人との距離の取り方を学んでいきます。

人間関係のトラブルは、長い目で見れば人間関係の構築法を学ぶ機会でもありますが、渦中にいる子どもは、トラブルにより悩み、傷ついていることもあります。側にいる大人は、寄り添って「悩みを聞いてあげる」「自分の小学生時代の経験を話す」「いつでもあなたの味方だと安心させる」などの対応を考えられます。この時期を自分の力で乗り越える過程が子どもを成長させ将来の自立にかかわっていきます。